

洛和会音羽病院

地域連携ニュース



6

〒607-8062 京都市山科区音羽珍事町2 TEL 075 (593) 4111(代) <http://www.rakuwa.or.jp/>

2019 June

おとわの専門医 腫瘍内科

2019年4月 洛和会音羽病院に 腫瘍内科外来が新設されました

洛和会音羽病院 腫瘍内科 医長 しまもと ふくたろう
島本 福太郎



近年、がん薬物療法の進歩は目覚ましく、分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害剤の登場により進行がんの予後は大きく改善しました。多くのがん種においてドライバー遺伝子のコンパニオン診断が一般的となり、最近MSI検査の保険承認に伴い、臓器横断的遺伝子検査も行われるようになりました。がんゲノム医療の保険承認とともに個別化医療は加速し、がん薬物療法はますます専門性の高い分野となっていくます。

このような流れのなか、治療の長期化に伴い、複雑化するがん薬物療法の副作用対策やがんに伴う苦痛の緩和など、患者さんの生活の質に重点を置いた治療計画が必要不可欠です。洛和会音羽病院では、これらががん診療を取り巻くさまざまな問題に答えるべく、2019

(平成31)年4月に腫瘍内科外来を新設いたしました。消化器がんを中心とした各種固形がんのほか、臓器特異的な専門科のみでは対応が難しい、多くの合併症を持った高齢者のがんや2臓器以上にわたる重複がん、原発不明がん、肉腫などの希少がんについても各専門科と連携しながら診療しております。また当科では、腫瘍内科医を中心にがん治療専門スタッフがセルフケアの指導を行い、患者さんが仕事や家事など、これまで通りの生活を続けながら外来でがん治療を受けられるようサポートさせていただきます。さらに必要に応じて大学病院など高次医療機関とも連携しながら、患者さんのニーズに合った、最適な治療を提供できるよう努めておりますので、どうぞお気軽にご相談ください。



特定行為研修を修了して

～ 地域を支える病院としての使命 ～

洛和会音羽病院 看護部 4D病棟 主任 特定看護師 いとう ひろむ 伊藤 浩武



洛和会音羽病院では、特定行為研修を修了した看護師（以下、特定看護師）8人が、4月に急性期領域から在宅医療に対応した区分も修了し、ICUや救急病棟、一般病棟で勤務しています。私たち特定看護師は、医療と看護の視点をもって患者さんの状態を見極め、生活や社会背景などを考慮し、安全で安楽な看護を提供する使命があります。また、院内全体の看護実践能力の向上につながるよう勉強会などを開催し、スタッフ教育の役割も担っています。

退院された患者さんが安心して在宅療養ができるよう、退院後にご自宅へお伺いし、医療処置や在宅酸素、在宅



人工呼吸の設定調整など、在宅人工呼吸器 退院後訪問指導



在宅酸素療法 (HOT) 退院後訪問指導

人工呼吸の設定調整など、在宅人工呼吸器 退院後訪問指導
訪問看護師との連携を含めた「退院後訪問」も実施しています。患者さんやご家族からは、「知っている看護師さんが来てくれて安心する」という言葉をいただき、地域と病院が連携する重要性を再認識することができました。

まだまだ特定看護師として発展途上ではありますが、今後も院内外での活動を強化し、患者さんに安心していただける医療を提供し続けられるよう、取り組んでまいります。

洛和会音羽病院 地域連携課

業務時間

月～金曜日：午前8時30分～午後8時
土曜日：午前8時30分～午後5時15分

連絡先

地域連携課直通

TEL 075 (593) 7725

FAX 075 (593) 4160

E-mail otowa@rakuwa.or.jp

ご意見・ご質問・ご要望などございましたらお申し付けください。

医療機関予約専用フリーダイヤル



0120 (607) 489